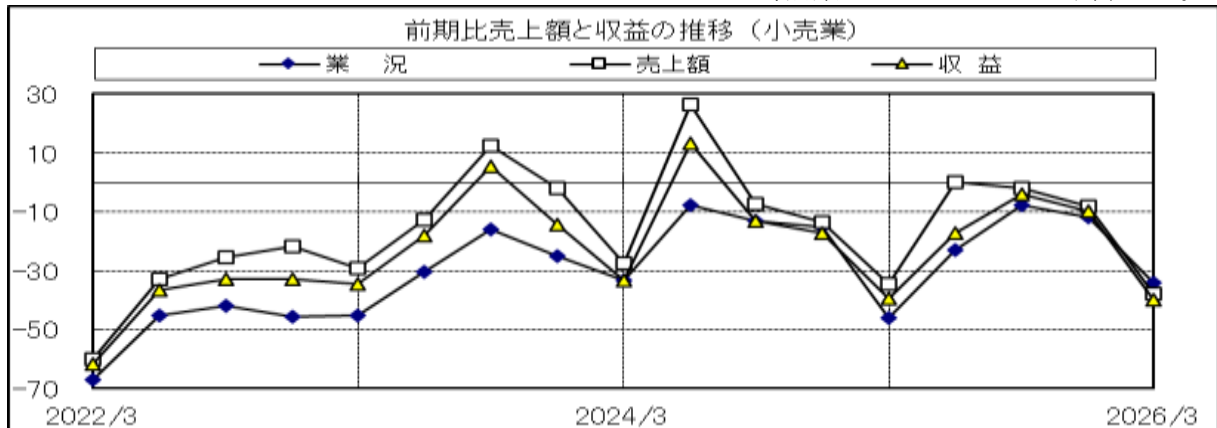


## 小売業 50 企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 実績	4~6月 期見通し
業況	-7.8	-12.0	-34.0	-20.0
売上額	-2.0	-8.0	-38.0	14.0
収益	-3.9	-10.0	-40.0	8.0

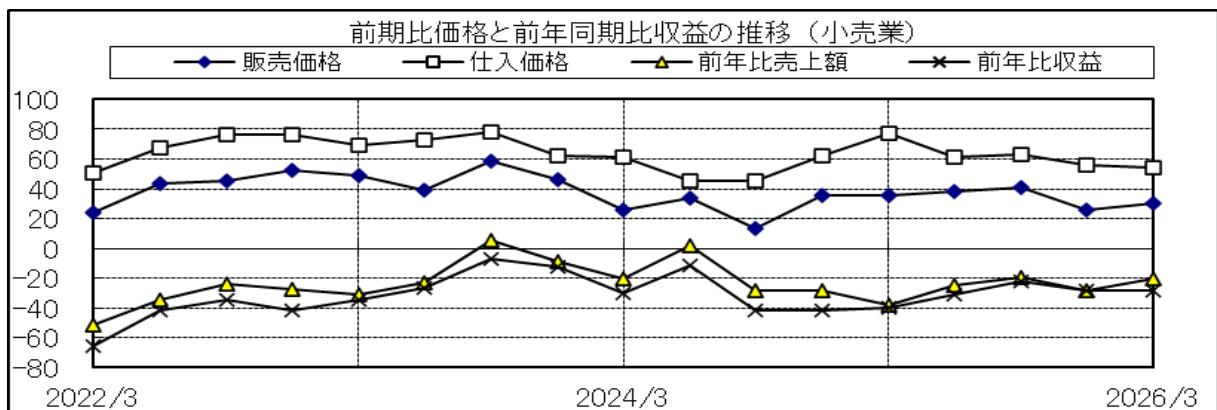
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 34.0$ で、前期比 22.0 ポイント下降、前年 ( $\Delta 45.3$ ) 比で 11.3 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、同率で静岡・えりもが最も高く、次に、同率で類似・広尾、浦河と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 38.0$ で、前期比 30.0 ポイント下降。収益判断 D. I. は $\Delta 40.0$ で、前期比 30.0 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
販売価格	41.2	26.0	30.0	36.0
仕入価格	62.7	56.0	54.0	54.0

販売価格判断 D. I. は 30.0 で、前期比 4.0 ポイント上昇、前年 (35.8) 比で 5.8 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 54.0 で前期比 2.0 ポイント下降、前年 (77.4) 比で 23.4 ポイント下降した。業種別では、衣料、食料、家電の販売価格、仕入価格はともに横ばいとなっている。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
残業時間	-3.9	-6.0	-8.0	-4.0
人手状況	-19.6	-24.0	-28.0	-30.0

残業時間判断 D. I. は $\Delta 8.0$ で、前期比 2.0 ポイント下降し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 28.0$ で、前期比 4.0 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

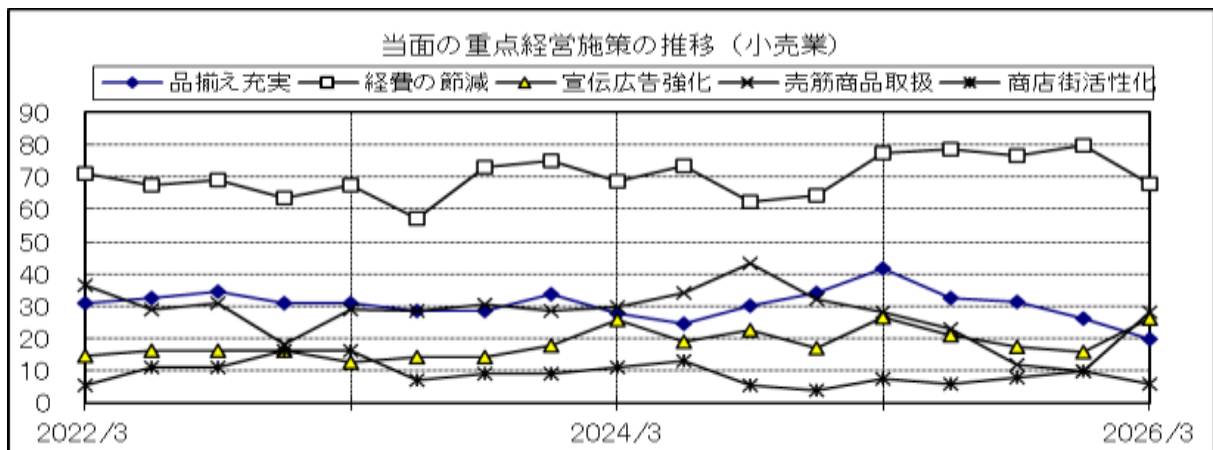
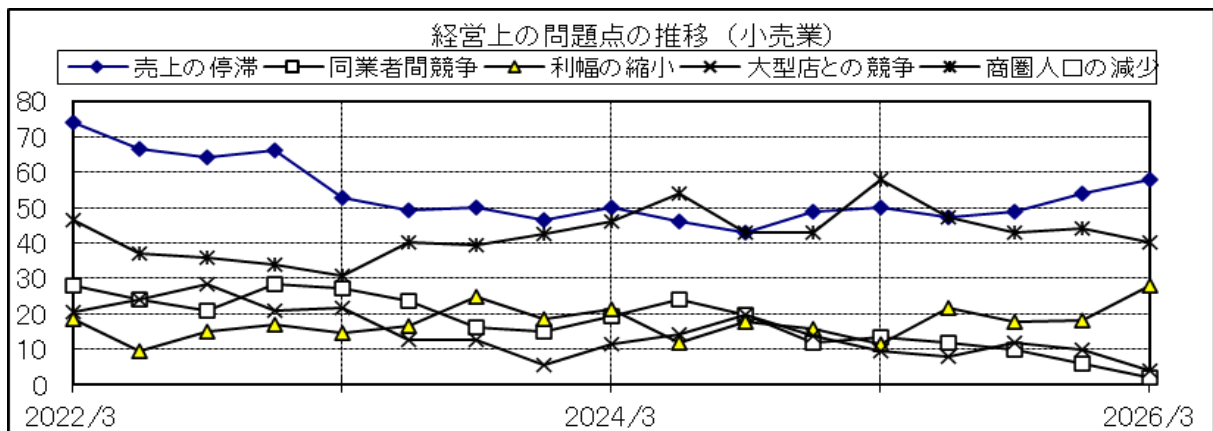
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△6.0で、前期(△16.0)比 10.0ポイント上昇した。  
 設備実施企業割合は 4.0で、前期(12.0)比 8.0ポイント下降した。設備投資は、前期 6社  
 に対し 2社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 58.0%と最も多く、次に「商圈人口減少」40.0%、「利  
 幅縮小」28.0%、「商店街集客力低下」14.0%、「人手不足」・「値上げ要請」・「取引先減少」・「地  
 場産業衰退」が 12.0%、「販売商品不足」・「諸経費増加」が 8.0%、「人件費増加」6.0%、「大型  
 店競合」・「取扱商品陳腐化」・「店舗狭隘老朽化」が 4.0%、「同業者競合」・「輸入製品競合」・  
 「代金回収悪化」・「天候不順」・「大手企業撤退」が 2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 68.0%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」28.0%、「宣  
 伝広告強化」26.0%、「品揃え改善」20.0%、「仕入先開拓選別」18.0%、「人材確保」12.0%、「商  
 店街活性化」6.0%、「店舗設備改装」4.0%、「パート化」・「教育訓練強化」・「不動産有効活用」  
 が 2.0%となっている。



□ 来期の見通し

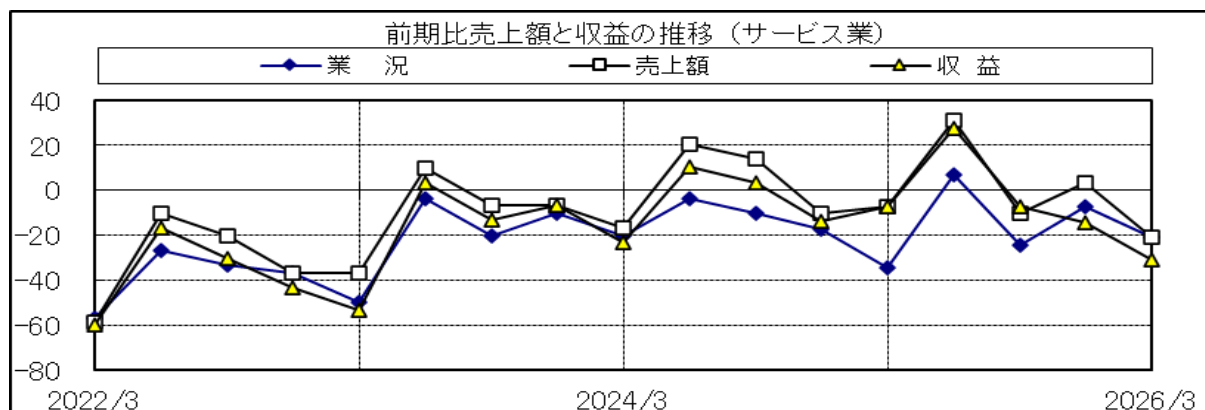
来期の予想業況判断D. I. は△20.0と、今期比 14.0ポイントの上昇を見通している。  
 予想売上額判断D. I. は 14.0と、今期比 52.0ポイントの上昇を見通している。  
 予想収益判断D. I. は 8.0と、今期比 48.0ポイントの上昇を見通している。  
 予想販売価格判断D. I. は 36.0と、今期比 6.0ポイントの上昇を見通している。  
 予想仕入価格判断D. I. は 54.0と、今期と同水準を見通している。

## サービス業 28 企業（回答率 96.6%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-24.1	-7.1	-20.7	0.0
売上額	-10.3	3.6	-20.7	17.2
収 益	-6.9	-14.3	-31.0	0.0

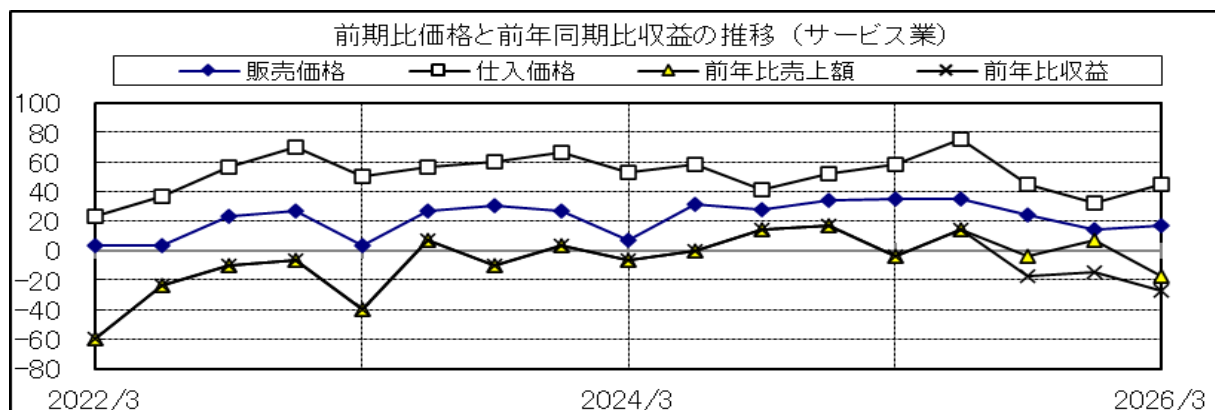
今期の業況判断 D. I. は△20.7 で、前期比 13.6 ポイント下降、前年(△34.5)比で 13.8 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、浦河、同率で静内・えりも・広尾と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△20.7 で、前期比 24.3 ポイント下降。収益判断 D. I. は△31.0 で、前期比 16.7 ポイント下降した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	24.1	14.3	17.2	17.2
材料価格	44.8	32.1	44.8	44.8

料金価格判断 D. I. は 17.2 で、前期比 2.9 ポイント上昇、前年(34.5)比で 17.3 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 44.8 で、前期比 12.7 ポイント上昇、前年(58.6)比で 13.8 ポイント下降した。業種別では、旅館、洗濯理容、自動車整備の料金価格および材料価格は、横這となった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-6.9	0.0	-24.1	-27.6
人手状況	-27.6	-35.7	-31.0	-31.0

残業時間判断 D. I. は△24.1 で、前期比 24.1 ポイント下降し、残業時間が増加したとする企業割合が減った。

人手過不足判断 D. I. は△31.0 で、前期比 4.7 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

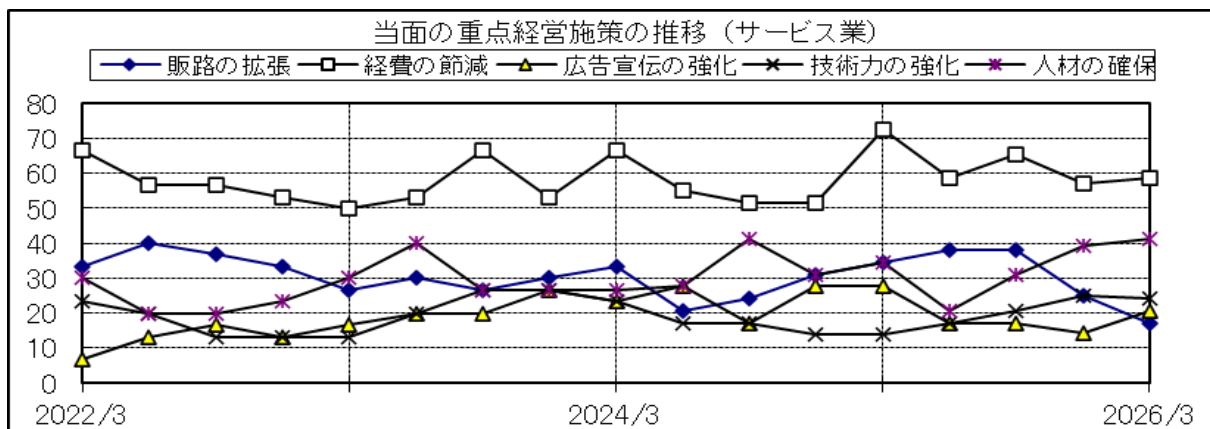
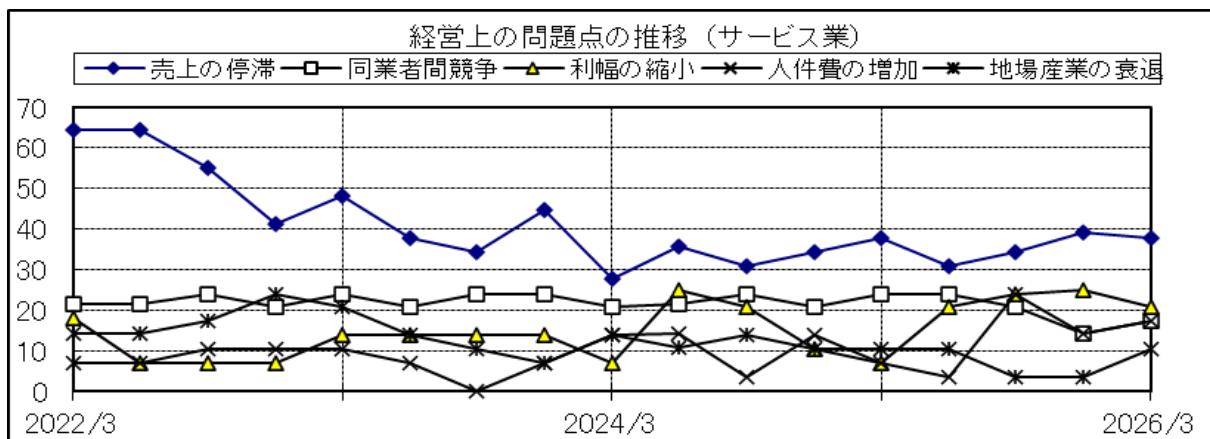
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△6.9で、前期比3.8ポイント上昇した。  
 設備投資実施企業割合は13.8で、前期比4.1ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「材料価格上昇」が37.9%と最も多く、次に「人手不足  
 く足」34.5%、「商圈人口減少」27.6%、「利幅縮小」20.7%、「同業者競合」・「人件費増加」・「店  
 舗設備老朽化」が17.2%、「取引先減少」13.8%、「地場産業衰退」10.3%、「合理化不足」・「諸経  
 費増加」・「技術力不足」・「代金回収悪化」・「天候不順」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が58.6%と最も多く、次に「人材確保」41.4%、「技術力強  
 化」24.1%、「宣伝広告強化」20.7%、「販路拡張」17.2%、「店舗設備改善」・「機械化促進」が  
 10.3%、「提携先確保」・「教育訓練強化」が6.9%、「パート化」・「労働条件改善」が3.4%となっ  
 ている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は0.0と、今期比20.7ポイントの上昇を見通している。  
 予想売上額判断D. I. は17.2と、今期比37.9ポイントの上昇を見通している。  
 予想収益判断D. I. は0.0と、今期比31.0ポイントの上昇を見通している。  
 予想料金価格判断D. I. は17.2と、今期と同水準を見通している。  
 予想材料価格判断D. I. は44.8と、今期と同水準を見通している。